

中部医師会連合第10回常任委員会次第

日時 令和5年4月5日（水）午後1時30分

場所 名古屋マリオットアソシアホテル 17階「楓」

1. 開 会

2. 挨拶

3. 協議事項

(1) 第154回日本医師会定例代議員会への対応について **【協議資料1】**

(2) 中部医師会連合第2回日医代議員協議会の開催について **【協議資料2】**

(3) 令和5年度特別委員会について<静岡県> **【協議資料3】**

(4) 当面の医療問題について

(5) その他

4. 報告事項

(1) 日本医師会理事打合会及び第13回理事会（3月22日開催）について **【報告資料 1-1, 1-2】**

(2) 第153回日本医師会臨時代議員会（3月26日開催）について **【報告資料 2】**

(3) 日本医師会各種委員会概況報告について **【報告資料 3】**

(4) その他

5. 閉 会

次回 5月10日（水）午後1時30分～ 於：名古屋マリオットアソシアホテル 17階「楓」

中部医師会連合第10回常任委員会出席者名簿

日時 令和5年4月5日（水）午後1時30分

場所 名古屋マリオットアソシアホテル 17階「楓」

医師会名	役職名	氏名	備考
静岡県	会長	紀平 幸一	日本医師会理事
	事務局長	石田 貴	
石川県	会長	安田 健二	
	事務局長	北川 龍郎	
愛知県	会長	柵木 充明	日本医師会代議員会議長
	事務局長	古田 正典	
富山県	会長	馬瀬 大助	日本医師会監事
	事務局長	白又 康宏	
岐阜県	会長	伊在井 みどり	
	事務局長代行	井上 和憲	
福井県	会長	池端 幸彦	日本医師会理事
	事務局長	五十嵐 国行	
三重県	会長	二井 栄	
	事務局長	加藤 敦央	

日本医師会代議員会における代表質問・個人質問並びに財務委員名簿

2023. 4. 5 第10回常任委員会

回	開催年月日	代表質問	個人質問	財務委員
第133回 (臨時)	H26. 6. 29	泉 (富山)	河合 (岐阜)	池端 (福井) 池田 (岐阜)
第134回 (臨時)	H27. 3. 29	池端 (福井)	山本 (愛知)	
第135回 (定例)	H27. 6. 28	徳永 (静岡)	近藤 (石川)	
第136回 (臨時)	H28. 3. 27	杉田 (愛知)	末松 (福井)	
第138回 (臨時)	H28. 6. 26	上田 (石川)	村上 (富山)	徳永 (静岡) 上田 (石川)
第139回 (臨時)	H29. 3. 26	矢嶋 (岐阜)	二井 (三重)	
第140回 (定例)	H29. 6. 25	馬瀬 (富山)	高木 (静岡)	
第141回 (臨時)	H30. 3. 25	大中 (福井)	池田 (岐阜)	二井 (三重) 馬瀬 (富山)
第143回 (臨時)	H30. 6. 24	徳永 (静岡)	大輪 (愛知)	
第144回 (臨時)	H31. 3. 31	代表質問		
		馬岡 (三重)	大輪 (愛知)	
第145回 (定例)	R1. 6. 23	高田 (石川)	馬瀬 (富山)	
第146回 (臨時)	中止 R2. 3. 29	福井県	岐阜県	杉田 (愛知) 安川 (福井)
第147回 (定例)	R2. 6. 27	池端 (福井)	三輪 (岐阜)	
第149回 (臨時)	見送り R3. 3. 28	三重県	静岡県	
第149回 (定例)	R3. 6. 27	中村 (三重)	勝呂 (静岡)	
第150回 (臨時)	R4. 3. 27	加藤 (愛知)	安田 (石川)	池田 (岐阜) 加陽 (静岡)
第152回 (臨時)	R4. 6. 26	伊在井 (岐阜)	村上 (富山)	
第153回 (臨時)	R5. 3. 26	安川 (福井)	田中 (三重)	
第154回 (定例)	R5. 6. 25			

- 代表質問 (2名) は、日医会長・副会長・常任理事選出県を除いた県の中から「順番」により選出する。(代表順番) 静岡・愛知・岐阜・富山・福井・三重・石川
- 財務委員は任期を2年とし、富山・愛知・福井・岐阜・静岡・石川・三重の順番により選出する。
- 第154回の代表質問の主務県への最終提出期限は、令和5年5月24日(水)とする。
- 個人質問は、第144回以降は廃止された。
- 第149回以降、代表質問はブロック別に2名(代議員数50名を超えるブロックにおいては50名又はその端数を加えるごとに1名を追加)以内となった。

中部医師会連合第2回日医代議員協議会次第（案）

日時 令和5年5月31日（水）午後3時
場所 名古屋マリオットアソシアホテル 16階「アイリスⅠ」

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 題

（1）第154回日本医師会定例代議員会への対応について

（2）講 演

「
」

講師

先生

（3）その他

4. 閉 会

中部医師会連合日医代議員協議会における講演等について

年度・当番県	回数	内容
平成27年度 (三重県)	第1回	【意見交換】 ①平成28年度中部医師会連合特別委員会について ②日本医師会勤務医理事、女性医師理事の選出方法について
	第2回	【意見交換】 平成28年度中部医師会連合特別委員会について
平成28年度 (静岡県)	第1回	【意見交換】 改正道路交通法の施行に伴う認知症に係る診断書の作成について
	第2回	【意見交換】 厚生労働省「新たな医療の在り方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョン検討会報告書」を踏まえた医師の働き方について
平成29年度 (石川県)	第1回	【講演】 次期診療報酬の改定について 日本医師会常任理事 松本純一先生
	第2回	【講演】 日本医師会第三次医師会将来ビジョン委員会報告 -医療の今日的課題に対して医師会員は何をすべきか- 石川県医師会理事 日本医師会第三次医師会将来ビジョン委員会委員長 佐原博之先生
平成30年度 (愛知県)	第1回	【講演】 医療における消費税問題の背景 愛知県医師会理事 大輪芳裕先生
	第2回	【講演】 会員増強対策について 愛知県医師会理事 檜尾富二先生
令和元年度 (富山県)		開催せず
令和2年度 (岐阜県)		開催せず
令和3年度 (福井県)	第1回	【講演】 次期診療報酬改定について 中央社会保険医療協議会委員 福井県医師会長 池端幸彦先生
	第2回	なし
令和4年度 (三重県)	第1回	【講演】 医師会の組織強化について 日本医師会第五次医師会組織強化検討委員会委員長 岐阜県医師会会長 伊在井みどり先生
	第2回	

令和5年度中部医師会連合特別委員会について（案）

1. 設置する特別委員会及び委員長県について

- (1) 社会保険特別委員会 委員長県： 愛知 県医師会
- (2) 地域包括ケア特別委員会 委員長県： 岐阜 県医師会
- (3) 勤務医 特別委員会 委員長県： 富山 県医師会

【参考】

年 度	特別委員会名	委員長県
令和4年度	社会保険	愛知県
	地域包括ケア	岐阜県
	感染症対策	愛知県
令和3年度	社会保険	愛知県
	地域包括ケア	岐阜県
	感染症対策	愛知県
令和2年度	社会保険	愛知県
	地域包括ケア	岐阜県
	感染症対策	愛知県
令和元年度	社会保険	愛知県
	地域包括ケア	岐阜県
	医師確保対策	三重県
平成30年度	社会保険	愛知県
	介護保険	福井県
	広域災害・救急医療	静岡県
平成29年度	社会保険	愛知県
	介護保険	福井県
	地域医療	静岡県
平成28年度	社会保険	愛知県
	介護保険	福井県
	勤務医	富山県
平成27年度	社会保険	愛知県
	介護保険	福井県
	勤務医	富山県

2. 委員の委嘱について

(1) 委員数：各県3名以内。

但し、委員長県にあつては4名まで可とする。

(2) 選任：令和5年6月末日までに報告。

但し、期限までに選出が困難な県にあつては、決定次第報告することとする（最終決定は8月5日開催の第2回常任委員会）。

3. 特別委員会の開催について

(1) 開催回数

年2回程度

(2) 開催候補日

名古屋マリオットアソシアホテル会場確保日

令和5年 8月 6日（日）

8月20日（日）

9月17日（日）

10月 1日（日）

10月 8日（日）

10月 9日（月・祝）

(3) 開催時間

13時30分から15時30分（2時間）

【参考】

年度	特別委員会名	開催日	
令和4年度	社会保険	第1回	令和4年 9月24日(土)web
	地域包括ケア	第1回	令和4年 8月21日(日)web
		第2回	令和4年 9月25日(日)
	感染症対策	第1回	令和4年10月 1日(土)web

※9月25日は名古屋マリオットアソシアホテルにて開催

新型コロナウイルス感染症対策本部会議

令和5年3月22日

《 資料 》

新型コロナウイルス感染症に係る最近の状況について

釜范 常任理事

【資料1】

【資料2】

理事打合会

令和5年3月22日

《 資料 》

1. 新型コロナウイルス感染症入院患者医療費の未収金の問題について

佐藤 理事【資料1】

2. COVID-19経口治療薬3薬剤の比較情報について

渡辺 理事【資料2】

3. 日本医師会総合政策研究機構組織規程について

釜范・城守 両常任理事【資料3】

4. 医師国家資格に関する事務におけるマイナンバーの利用について

長島 常任理事【資料4】

5. その他

第 13 回理事会速報

令和 5 年 3 月 22 日開催

《出張報告》

- ①埼玉県医師会講演会（3月16日：埼玉県：松本会長）
- ②鹿児島県医師会特別講演会（3月18日：鹿児島県：松本会長、今村常任理事）
- ③令和4年度福岡県医師会勤務医部会・男女共同参画部会合同研修会（3月18日：福岡県：角田副会長）
- ④佐賀県医師会 令和4年度第2回佐賀医学会・日生涯教育講座（3月18日：佐賀県：城守常任理事）
- ⑤静岡県医師会医療政策研究会（3月18日：静岡県：長島常任理事）
- ⑥茨城県医師会主治医研修会（3月16日：茨城県：江澤常任理事）
- ⑦高知県医師会医療機関税制セミナー（3月16日：WEB：宮川常任理事）

《報告事項》

1. 第 90 回日本医学会定例評議員会の件

（報告・釜菴常任理事）

標記の評議員会が2月22日、WEB会議で開催された。

議事は、(1)報告事項、(2)協議事項、(3)その他、(4)質疑応答—についてであった。

(1)では、第31回日本医学会総会の準備状況の他、第32回日本医学会総会の日程と役員等について報告された。

(2)では、1学会の新規加盟が承認された。これにより、日本医学会分科会は142学会となる。

2. 第 43 回日本医師会医療秘書認定試験結果分析評価報告書の件

（報告・釜菴常任理事）

標記の報告書が取りまとめられ、3月15日に野田正治委員長（愛知県医師会副会長）から松本会長に提出されたので、報告する。

本報告書は、12県医師会（12校）で305名の受験生が参加して行われた第43回日本医師会医療秘書認定試験の結果について分析・評価したものである。今回の認定試験は、受験者数305名中、合

格者は267名、合格率は87.5%であった。

その中では、「日本医師会認定医療秘書」は、充実したカリキュラムを課して養成しており、質が確保されていることから、これを医療秘書養成の基準とすべきとするとともに、今後、更にその認知度を高めるため、診療報酬算定要件に本認定試験を位置付ける等の方策を引き続き求めたいとしている。

3. 令和4年度医療従事者の安全確保に関する都道府県医師会担当理事連絡協議会の件

（報告・細川常任理事）

標記の協議会を3月17日、日本医師会館小講堂とWEB会議の併用で開催した。

当日は、松本会長のあいさつに続いて、議事として、(1)報告①厚生労働省から②警察庁から、(2)都道府県医師会における取組事例の発表[①「医療従事者の安全確保に関する都道府県医師会の取り組み状況に関する調査(令和5年3月)の結果」(日本医師会)②広島県医師会③茨城県医師会④東京都医師会]—について説明が行われた後、都道府県医師会からの質疑に役員等が回答した。

4. 令和4年度JMAT研修統括JMAT（先遣JMAT機能含む）編の件

（報告・細川常任理事）

標記研修会の統括JMAT編を3月19日、日本医師会館とWEB会議の併用で開催した。

当日は、松本会長のあいさつ（細川常任理事代読）に続き、講義1題及び実習4題[①被災地における活動(統括編)1②被災地における活動(統括編)2③情報の共有・記録(E-MIS、J-SPEED)④日本医師会への情報発信、全国の医師会との情報共有]、修了式・講評が行われた。受講者は52名。

5. 経済産業省 健康・医療新産業協議会健康投資ワーキンググループ（第8回）の件

（報告・茂松副会長）

標記のワーキンググループが3月16日、都内とWEB会議で開催され、WEBで参加した。

議事は「健康経営施策の進捗状況と今後の展開」についてであり、経済産業省事務局より、(1)認定状況等、(2)次年度調査設問等の改訂、(3)健康経営施策の今後の展開—について説明がなされた後、議論を行った。

(1)では、①健康経営度調査及び健康経営優良法人(大規模法人部門)について、3,169件の回答が

あり、認定数は2,676件であった②健康経営優良法人(中小規模法人部門)の申請数は、14,401件であり、認定数は14,012件であり、いずれも増加している一ことが報告された。

(2)では、①業務パフォーマンス指標に関する開示②労働安全衛生に関する開示③仕事と育児・介護の両立支援一について具体的な改訂案が示された。

①では、「アブセンティーズム」「プレゼンティーズム」「ワークエンゲイジメント」について新たに評価対象とするとの提案がなされた。

②では、健康経営の目的・体制の開示有無を問う設問等において、労働安全衛生も含めることが、③では、次年度の改訂で新たに「仕事と育児・介護の両立支援に関する取組」を評価対象にすることがそれぞれ提案された。

議論の中では、開示基準が示されていない中で調査が行われていることを疑問視する意見が出された。

その他、当日は矢野裕一郎滋賀医科大学教授から、「健康経営と企業の業績の関連性」に関してヒアリングが行われ、保健事業費や医療費が増えると利益が増加するとの研究結果の報告があった。

6. 日本専門医機構 第10回理事会の件

(報告・茂松副会長、釜菴常任理事)

標記の理事会が3月17日、都内とWEB会議で開催され、WEBで参加した。

議事は、(1)第9回理事会(2月17日開催)議事録の確認、(2)協議事項、(3)報告事項、(4)その他一についてであった。

当日は、主に①機構組織②2024年度開始のプログラム申請一について議論が行われた。

②では、専門研修プログラムの基本領域学会を通して専門医機構に申請される流れが確認されるとともに、4月に募集を開始し、10月にプログラムを承認するスケジュールが了承された。

また、年度別専門医認定状況が報告され、2022年度の総合診療科は233名とのことであった。

7. 第97回社会保障審議会医療部会の件

(報告・角田副会長、釜菴常任理事)

標記の部会が3月20日、WEB会議で開催された。

議事は、(1)第8次医療計画等に関する検討会(新興感染症対応)(報告)、(2)新型コロナワクチン接種会場及び臨時の医療施設への看護師の労働者派遣一についてであった。

(1)では、第8次医療計画等に関する検討会の取

りまとめについて報告を受けて意見交換を行い、一部の修正を座長預かりとすることで了承した。

議論の中で角田副会長は、新興感染症発生・まん延時における医療について、新型コロナウイルス感染症への対応を念頭に策定することはやむを得ないものの、今後どのような新興感染症が生じるか分からないため、柔軟に対応する重要性を強調するとともに、専門家や専門家集団との連携と迅速な対応が必要であると指摘した。

(2)では、令和5年3月末までの特例措置として認められてきた、へき地以外に所在する新型コロナワクチン接種会場への看護師及び准看護師の労働者派遣について、当初の予定どおりの期日で終了することが了承された。

また、5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に変わることに伴い、臨時の医療施設が順次整理されることから、5月7日をもって、へき地以外に所在する臨時の医療施設への看護師及び准看護師の派遣にかかる特例措置も終了とすることが了承された。

8. 令和4年度C-2水準審査統括委員会の件

(報告・猪口副会長)

標記の委員会が3月14日、WEB会議で開催された。

当日は、令和4年度のC-2水準関連審査の流れが示された後、令和4年度C-2水準審査委員会において、技能研修計画では、11申請が承認、8申請が審議継続、医療機関申請書では、3申請が承認、23申請が審議継続となったことの報告を受けた。

審議継続となった申請については、今後ヒアリングを行っていく予定である。

9. 社会保障審議会介護給付費分科会(第215回)の件

(報告・江澤常任理事)

標記の分科会が3月16日、WEB会議で開催された。

議事は、(1)令和3年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査(令和4年度調査)の結果、(2)令和4年度介護保険福祉用具・住宅改修評価検討会の結果(報告)、(3)その他一についてであった。

(1)では、①都市部、離島や中山間地域などにおける令和3年度介護報酬改定等による措置の検証、地域の実情に応じた必要な方策、サービス提供のあり方の検討に関する調査研究事業②介護保険施

設における医療及び介護サービスの提供実態等に関する調査研究事業③介護現場でのテクノロジー活用に関する調査研究事業―等5つの項目について結果が示された。

議論の中では、①について、タイトルの最初に「都市部」の記載があることに疑義を示し、令和3年度介護報酬改定に関する審議報告における本件に関する記載では、都市部の市街地は対象地域ではないことを改めて確認した。

②では、他の委員から、老健、介護医療院が特養と同様に住まいの場であれば、特養と同様に多床室の室料負担を徴収することを求める意見が出されたことに対し、「老健は在宅復帰・在宅療養支援、介護医療院は長期療養の機能が本来の役割であり、住まいと異なる医療提供の場であり、今後も医療面で利用者を支えていくことに特化した役割を担う社会資源として、今回の調査結果からも再認識されている」と反論した。

③では、特養の夜勤職員配置加算や日常生活継続支援加算・入居継続支援加算について、介護ロボットやテクノロジーの活用により人員基準の配置を緩和したケースの算定が低調となっている等の結果に対し、「現状の介護現場は、施設基準より人員配置を加配しないと現場が回らない状況にあり、現在のテクノロジー活用では、とても人員配置を減らす状態にないことが表れている」と指摘するとともに、「夜間の人員配置を減じた際の勤務負担も検証し、現場職員のための有益な対応が求められる」と述べ、今後も現場職員の視点に立ち、現場職員の心に響くような政策とすることを要望した。

10. 第7回医療用医薬品の安定確保策に関する関係者会議の件

(報告・宮川常任理事)

標記の会議が3月17日、都内で開催された。

議事は、(1)医療用医薬品の安定供給、(2)その他一についてであった。

(1)では、まず、「医薬品の安定確保を図るための取組」において示された、「供給不安を予防するための取組」「供給不安の兆候をいち早く捕捉し早期対応に繋げるための取組」などについて、前回会議での主な意見を整理した今後の対応の方向性が示された。

その中では、①潜在的な供給不安の調査②脆弱なサプライチェーン構造への対策③関係者間の情報共有、連携強化―といった課題が挙げられ、①で

は、製薬企業の対応力強化が必要とされた。

また、②では、特に原材料調達に関しては、国が責任をもって当たるべきとの指摘があった他、③では、製薬企業、卸売、病院、薬局等の間で情報共有を進めることが求められた。

2022年8月末の調査結果に基づく医薬品の「欠品・出荷停止」「限定出荷」の状況については、前年同月と比較して悪化している状況が報告された。

これに対し、改めて安定供給問題の発生原因について質問。「根本的な原因について明らかにしなければならない」と強く指摘するとともに、サプライチェーンの問題については「国にその対応を要求していかなければならない」と主張した。

その他、「医薬品の迅速・安定供給実現に向けた総合対策に関する有識者検討会」において、①後発品企業のビジネスモデル上の課題②不採算品目への対応に関する課題―といった問題が取り上げられ、産業の再編を含めた今後のジェネリック産業のあり方について考える必要性や、医療上の必要性の高い製品の継続的な安定供給を下支えする取り組みの必要性が指摘されたことに対しては、共同開発等の製薬業界の構造的課題への言及が必要との認識を示すとともに、構造的課題への更なる検討を進めることを求めた。

11. 第5回がんゲノム医療中核拠点病院等の指定に関する検討会の件

(報告・渡辺常任理事)

標記の検討会が3月15日、WEB会議で開催された。

議事は、(1)がんゲノム医療拠点病院の選定、(2)病院からのヒアリング(非公開)、(3)その他一についてであった。

(2)、(3)では、がんゲノム医療中核拠点病院等の全体像やがんゲノム中核拠点病院等の指定要件見直しのポイント等が示された上で、病院からのヒアリングも踏まえ、がんゲノム医療拠点病院の選定に向けた議論が行われた。

12. 文部科学省 中央教育審議会総会(第135回)の件

(報告・渡辺常任理事)

標記の総会が3月15日、都内とWEB会議で開催され、WEBで参加した。

議事は、(1)会長の選任等、(2)中央教育審議会運営規則等の制定、(3)第11期中央教育審議会の審議状況及び第12期の審議事項一についてであった。

当日は、第12期の第1回として開催され、(3)では、事務局より第11期での審議状況及び第12期におけるそれぞれの分科会での審議事項の予定について説明がなされた。

なお、分科会等の委員に関しては、今後指名される予定である。

13. 出入国在留管理庁 「入管収容施設における医療体制の強化に関する提言」の進捗状況に係る外部有識者による検証会議（第3回）の件

（報告・渡辺常任理事）

標記の会議が3月16日、都内で開催された。

議事は、(1)「入管収容施設における医療体制の強化に関する提言」において示された各種方策の進捗状況に係る意見交換、(2)連絡事項一についてであった。

(1)では、「入管収容施設における医療体制の強化に関する提言」の進捗状況に係る検証結果について、報告書案作成に向けた議論が行われた。

14. 第84回厚生科学審議会再生医療等評価部会の件

（報告・渡辺常任理事）

標記の部会が3月16日、都内とWEB会議で開催され、WEBで参加した。

議事は「第一種再生医療等提供計画の再生医療等提供基準への適合性確認」についてであった。

当日は、非公開で「CD19陽性急性リンパ性白血病に対するpiggyBacトランスポゾン法によるキメラ抗原受容体遺伝子改変自己T細胞療法」の変更が承認された他、「再発・進行頭頸部がん患者を対象としたiPS-NKT細胞動注療法及び自家DC/Ga1併用療法の忍容性、安全性及び有効性に関する第I相試験」の審議が行われた。

15. 第27回厚生労働統計の整備に関する検討会の件

（報告・渡辺常任理事）

標記の検討会が3月17日、WEB会議で開催された。

議事は、(1)「公的統計の整備に関する基本的な計画」別表の検討状況等、(2)縦断調査の改善に関するワーキンググループの設置、(3)毎月勤労統計調査の改善に関するワーキンググループ、(4)その他一についてであった。

(1)では、「公的統計の整備に関する基本的な計

画」について、厚生労働省が関連している調査の検討項目の進捗状況などが示され、それぞれについて報告が行われた。

(2)、(3)ではそれぞれワーキンググループの新設並びに継続設置について了承された。

16. 第38回患者申出療養評価会議の件

（報告・渡辺常任理事）

標記の会議が3月17日、WEB会議で開催された。

議事は、(1)患者申出療養に係る新規技術の科学的評価等、(2)小児がんのドラッグ・ラグに係る患者申出療養、(3)その他一についてであった。

(1)では、1件の新規技術が申請され、適として了承された。

(2)では、国立がん研究センターにおいて、小児・AYAがんに対して遺伝子パネル検査を実施し、小児において一定の安全性をもつ適応外薬あるいは未承認薬の安全性及び有効性の評価を目的とした臨床研究の予定について説明を受けた。

17. 令和4年度第2回薬事・食品衛生審議会 医療機器・再生医療等製品安全対策部会の件

（報告・細川常任理事）

標記の部会が3月16日、WEB会議で開催された。

議事は、(1)医療機器・再生医療等製品の市販後安全対策、(2)医療機器・再生医療等製品の不具合等報告、(3)医療機器・再生医療等製品の感染症定期報告、(4)その他一についてであり、それぞれ報告を受けた。

18. 第157回疾病・障害認定審査会感染症・予防接種審査分科会の件

（報告・今村常任理事）

標記の部会が3月14日、厚生労働省で開催され、新型コロナウイルス感染症予防接種以外の健康被害として6件、新型コロナウイルス感染症予防接種健康被害として23件(うち死亡事例11件)が認定された。

19. 外部審議会委員等委嘱の件

（報告・釜菴常任理事）

標記の件について、下記のとおり了承したので、報告する。

・感染症と自然災害に強い社会をニューレジリエンスフォーラム「企画委員会」委員：茂松副会長

《協議事項》

31. ウクライナへの医療支援に向けた支援金支出の件

(提案・釜菴常任理事)

ウクライナへの医療支援に向けた支援金については、3月22日までに4億1千4百万円を超える支援金が都道府県医師会や会員、国民から日本医師会に寄せられている。

そのうち、既に2億円は世界医師会に対し、医療支援を用途として寄附を行っているが、追加の支援として新たに2億1千3百万円の寄附を行うことについて、協議願いたい。

—提案どおり決定。

32. IPPNW日本支部からの支援金申請の件

(提案・釜菴常任理事)

ケニアのモンサバにおいて4月26～30日、「第23回核戦争防止国際医師会議(IPPNW)世界大会」を開催するに当たり、IPPNW日本支部に対し、資料に示すとおり支援金を支出したいので、協議願いたい。

—提案どおり決定。

33. 年金委員会委員委嘱の件

(提案・神村常任理事)

標記委員会の委員として、新たに6名を委嘱したいので、協議願いたい。

—提案どおり決定。

34. 令和4年度日本医師会会費減免申請の件

(提案・今村常任理事)

標記の減免申請が17,764名からあり、減免申請額は400,362千円となっている。その内訳は、高齢の事由によるものが10,333名で337,088千円、疾病の事由によるものが494名で20,202千円、出産・育児によるものが98名で2,869千円、研修医が6,839名で40,203千円にそれぞれなっているので、協議願いたい。

—提案どおり決定。

担当：日本医師会 広報課

第153回日本医師会臨時代議員会 次第

日 時 令和5年3月26日(日)午前9時30分
場 所 日本医師会館
東京都文京区本駒込2丁目28番16号

1. 開 会

1. 会長挨拶

1. 報 告

令和5年度日本医師会事業計画及び予算の件

1. 議 事

第1号議案 日本医師会定款・諸規程一部改正の件

1. 閉 会

日本医師会各種委員会概況報告

	頁
1. 第1回医事法関係検討委員会（3月1日）	1
2. 第2回地域医療対策委員会（3月1日）	2
3. 第3回小児在宅ケア検討委員会（3月2日）	14
4. 第1回警察活動等への協力業務検討委員会（3月3日）	26
5. 第2回生涯教育推進委員会（3月3日）	29
6. 第2回未来医師会ビジョン委員会（3月4日）	30
7. 第2回社会保険診療報酬検討委員会（3月8日）	58
8. 第3回学校保健委員会（3月10日）	97
9. 第2回労災・自賠責委員会（3月10日）	98
10. 第2回医療経営検討委員会（3月15日）	99
11. 第2回母子保健検討委員会（3月15日）	100
12. 第2回男女共同参画委員会（3月17日）	103
13. 第3回医師会共同利用施設検討委員会（3月17日）	115